

晴海通り（東京都中央区銀座）

東京都建設局第一建設事務所殿

東京都のシンボルロード整備事業として、数寄屋橋から銀座4丁目までの約250mに、御影石の歩道整備とともにファッション街銀座にふさわしいシンボリックな街路灯が設置された。

数寄屋橋交差点には高さ15m、蛍光水銀ランプ1キロワット2灯、100ワット5灯用が30m間隔で4基設置されている。一般歩道部は高さ10m、蛍光水銀ランプ1キロワット1灯、100ワット3灯用が20m間隔で計18基設置されている。車道部の設計照度は15ルクスである。



アーケード「ガレリア・モトマチ」(福井県福井市)

元町商店街共同組合理事長 河合 明殿

モトマチ一番街は築造後26年経過したことから今回大改修が行なわれ、高さ15mの全蓋式大空間アーケードに生まれ変わった。

長さ124mの高天井部両サイドに4m間隔で、水銀ランプ300ワット用ブラケット器具60台、250ワット用ダウンライト60台が設置されている。さらに、高天井空間演出として、300ワット白熱電球用投光器と200ワット水銀ランプ用投光器各18台で、ステンレス支柱、梁を照明して幻想的な雰囲気をかもしだしている。



ミュンヘン大橋（北海道札幌市南区）

札幌市建築局建築部電気設備課長 三井 尚殿

PC斜張橋を構成する主桁(橋脚)、主塔、斜材を各々ライトアップし、市民に潤いと安らぎを与えている。夏期は清涼感のあるメタルハライドランプ、冬期は暖色系の高圧ナトリウムランプに交換して季節感を演出している。光源はメタルハライドランプの場合、橋脚部400ワット4台、主塔部700+400ワット2灯用10基、斜材部400ワット8台を使用している。主塔部の鉛直面照度は100~200ルクスを得ている。又、点滅はプログラムタイマーと自動点滅器により制御されている。



白河小峰城三重櫓（福島県白河市八幡小路）

白河市長 今井 英二殿

市民のシンボルである小峰城を改修し、内部を展示スペースとして使用している。
(木造・瓦葺)

照明コンセプトとして、照度的には自然の月明りを少し明るくした程度で落ちついたイメージとすること。照明ポールは目立たない位置に建柱し、目立たない色(茶色)になっている。光源はメタルハライドランプ400ワットを使用し、4灯用4基を設備している。

